

#2  
WA  
10-1-0

日 本 国 特 許 庁

PATENT OFFICE  
JAPANESE GOVERNMENT

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出 願 年 月 日

Date of Application:

2000年 5月26日

出 願 番 号

Application Number:

特願2000-156603

出 願 人

Applicant (s):

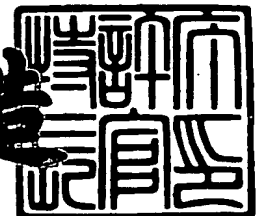
富士写真フイルム株式会社



2001年 3月23日

特許庁長官  
Commissioner,  
Patent Office

及 川 耕 造



出証番号 出証特2001-3022326

【書類名】 特許願

【整理番号】 P25286J

【あて先】 特許庁長官 近藤 隆彦 殿

【国際特許分類】 H04L 29/00

【発明者】

【住所又は居所】 東京都港区西麻布 2 丁目 2 6 番 3 0 号 富士写真フイルム株式会社内

【氏名】 田中 弘

【発明者】

【住所又は居所】 神奈川県足柄上郡開成町宮台 7 9 8 番地 富士写真フイルム株式会社内

【氏名】 志村 一男

【発明者】

【住所又は居所】 神奈川県足柄上郡開成町宮台 7 9 8 番地 富士写真フイルム株式会社内

【氏名】 大久保 猛

【特許出願人】

【識別番号】 000005201

【氏名又は名称】 富士写真フイルム株式会社

【代理人】

【識別番号】 100073184

【弁理士】

【氏名又は名称】 柳田 征史

【選任した代理人】

【識別番号】 100090468

【弁理士】

【氏名又は名称】 佐久間 剛

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 008969

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 9814441

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 サービス提供方法およびサービス提供システム

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 サービスの提供を受ける需要者と該需要者が希望する希望サービスの提供が可能な複数の供給者のうちの少なくとも 1 つの供給者とを結び付けて該供給者から前記需要者に前記希望サービスの提供を可能にするサービス提供方法であって、

ネットワークを介して、前記各供給者の前記サービスを提供可能な時刻、前記各供給者の提供可能なサービスの質、前記各供給者の所在位置、前記サービスの提供に対する対価としての料金の少なくとも 1 つに関する供給者情報を取得し、

前記需要者が希望する前記希望サービスに関する需要者情報を取得し、

それぞれ取得した前記供給者情報と前記需要者情報とに基づいて前記希望サービスの提供を希望する需要者と該希望サービスの提供が可能な供給者とを対応させることを特徴とするサービス提供方法。

【請求項 2】 サービスの提供を受ける需要者と該需要者が希望する希望サービスの提供が可能な複数の供給者のうちの少なくとも 1 つの供給者とを結び付けて該供給者から前記需要者に前記希望サービスの提供を可能にするサービス提供方法であって、

前記各供給者の前記サービスを提供可能な時刻、前記各供給者の提供可能なサービスの質、前記各供給者の所在位置、前記サービスの提供に対する対価としての料金の少なくとも 1 つに関する供給者情報を取得して、該取得した供給者情報をデータベースに格納し、

前記需要者が希望する前記希望サービスに関する需要者情報を取得し、

取得した前記需要者情報と前記データベースから読み出した前記供給者情報とに基づいて前記希望サービスの提供を希望する需要者と該希望サービスの提供が可能な供給者とを対応させることを特徴とするサービス提供方法。

【請求項 3】 前記サービスが医療に関わるサービスまたは介護に関わるサービスであることを特徴とする請求項 1 または 2 記載のサービス提供方法。

【請求項 4】 サービスの提供を受ける需要者と該需要者が希望する希望

サービスの提供が可能な複数の供給者のうちの少なくとも1つの供給者とを結び付けて該供給者から前記需要者に前記希望サービスの提供を可能にするサービス提供システムであって、

前記各供給者の前記サービスを提供可能な時刻、前記各供給者の提供可能なサービスの質、前記各供給者の所在位置、前記サービスの提供に対する対価としての料金の少なくとも1つに関する供給者情報を取得する供給者情報取得手段と、前記需要者が希望する前記希望サービスに関する需要者情報を取得する需要者情報取得手段と、それぞれ取得した前記供給者情報と前記需要者情報とに基づいて前記希望サービスの提供を希望する需要者と該希望サービスの提供が可能な供給者とを対応させるマッチング手段とを備えたことを特徴とするサービス提供システム。

【請求項5】 前記供給者情報を格納したデータベースを備えたことを特徴とする請求項4記載のサービス提供システム。

【請求項6】 前記サービスが医療に関わるサービスまたは介護に関わるサービスであることを特徴とする請求項4または5記載のサービス提供システム。

# 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

## 【発明の属する技術分野】

本発明は、希望するサービスの提供を受けようとする需要者と、需要者が希望する希望サービスの提供が可能な供給者とのマッチングをとり、前記希望サービスの提供を可能にするサービス提供方法およびシステムに関するものである。

## 【0002】

## 【従来の技術】

サービス産業の繁栄が著しい今日、サービスの提供を受ける需要者やサービスの提供を行なう供給者が種々の分野においてそれぞれ多数存在している。

## 【0003】

## 【発明が解決しようとする課題】

一方、需要者の希望するサービスをタイムリーにあるいは希望する料金や質通

りに提供できているかという点、必ずしもそのようにはなっていない。

【0004】

例えば、医療分野において放射線画像を用いて診断を行なう場合、放射線画像の読影には読影技能が必要とされ、全ての一般医が的確な読影をできるとは必ずしも限らないため、放射線画像の読影能力を有する専門医（読影医）による読影レポートを一般医が参照して診断を行なうことがある。この場合、放射線画像を撮影した後、この放射線画像を契約した専門医に渡して読影してもらう必要があるが、専門医に空き時間がなければ希望した時刻通りに読影レポートを入手できず、診断に支障を来すこともある。

【0005】

本発明は上記事情に鑑みてなされたものであり、需要者の希望するサービスを需要者の希望する時間や料金などに適合するように提供することのできる方法およびシステムを提供することを目的とするものである。

【0006】

【課題を解決するための手段】

本発明の第1のサービス提供方法は、例えば医療行為に直接結びつく医療サービスや間接的に医療に結びつくサービスなどの医療に関わるサービスまたは介護に関わるサービスなどをはじめとする各種サービスの提供を受ける需要者と該需要者が希望する希望サービスの提供が可能な複数の供給者のうちの少なくとも1つの供給者とを結び付けて該供給者から需要者に希望サービスの提供を可能にするサービス提供方法であって、

ネットワークを介して、各供給者のサービスを提供可能な時刻、各供給者の提供可能なサービスの質、各供給者の所在位置、サービスの提供に対する対価としての料金の少なくとも1つに関する供給者情報を取得し、

需要者が希望する希望サービスに関する需要者情報を取得し、

それぞれ取得した供給者情報と需要者情報とに基づいて希望サービスの提供を希望する需要者と該希望サービスの提供が可能な供給者とを対応させることを特徴とするものである。

【0007】

また本発明の第2のサービス提供方法は、各種サービスの提供を受ける需要者と該需要者が希望する希望サービスの提供が可能な複数の供給者のうちの少なくとも1つの供給者とを結び付けて該供給者から需要者に希望サービスの提供を可能にするサービス提供方法であって、

各供給者のサービスを提供可能な時刻、各供給者の提供可能なサービスの質、各供給者の所在位置、サービスの提供に対する対価としての料金の少なくとも1つに関する供給者情報を取得して、該取得した供給者情報をデータベースに格納し、

需要者が希望する希望サービスに関する需要者情報を取得し、

取得した需要者情報とデータベースから読み出した供給者情報とに基づいて希望サービスの提供を希望する需要者と該希望サービスの提供が可能な供給者とを対応させることを特徴とするものである。

#### 【0008】

上記において「希望サービスの提供を希望する需要者と該希望サービスの提供が可能な供給者とを対応させる」とは、希望サービスの提供が可能な供給者を選択し、該選択した供給者と希望サービスの提供を希望する需要者とを結び付けることを意味する。

#### 【0009】

需要者と供給者とを結び付けるに際しては、例えば、選択した供給者の中から需要者の希望する質や料金などの条件を満足する希望サービスを提供可能な供給者と需要者とを直ちに結び付けてもよいし、選択した供給者に関する情報を需要者に伝え、需要者側に希望する供給者を決定させるようにしてもよい。

#### 【0010】

なお、希望サービスの提供が可能な供給者がいないときにはその旨を需要者に知らしめるようにしてもよい。あるいは、希望条件を緩和し、その場合における供給者を選択してしてこの選択結果を需要者に知らせるようにしてもよい。

#### 【0011】

本発明のサービス提供システムは、上記方法を実施するシステム、すなわち各種サービスの提供を受ける需要者と該需要者が希望する希望サービスの提供が可

能な複数の供給者のうちの少なくとも1つの供給者とを結び付けて該供給者から希望する需要者に希望サービスの提供を可能にするサービス提供システムであって、

各供給者のサービスを提供可能な時刻、各供給者の提供可能なサービスの質、各供給者の所在位置、サービスの提供に対する対価としての料金の少なくとも1つに関する供給者情報を取得する供給者情報取得手段と、需要者が希望する希望サービスに関する需要者情報を取得する需要者情報取得手段と、それぞれ取得した供給者情報と需要者情報とに基づいて希望サービスの提供を希望する需要者と該希望サービスの提供が可能な供給者とを対応させるマッチング手段とを備えたことを特徴とするものである。

【 0 0 1 2 】

本発明のサービス提供システムは、供給者情報を格納したデータベースを備えたものとするのが望ましい。

【 0 0 1 3 】

【発明の効果】

本発明のサービス提供システムによれば、複数の供給者のそれぞれのサービスを提供可能な時刻などの供給者情報を取得するとともに、需要者が希望する希望サービスに関する需要者情報を取得して、それぞれ取得した供給者情報と需要者情報とに基づいて希望サービスの提供を希望する需要者と該希望サービスの提供が可能な供給者とを対応させるようにしたので、需要者の希望するサービスを需要者の希望する時間や料金などに適合するように提供することができるようになり、個別に契約をする場合に比べて、需要者は希望サービスの提供を受けることのできない機会を軽減することができる一方、サービス提供者は自分の空いている時間を有効に使える。

【 0 0 1 4 】

また、サービスの提供を行なうことが可能な供給者に関する情報を予めデータベースに登録するようにすれば、需要者の希望する条件に適合する希望サービスの提供が可能な供給者の検索がスムーズにできる。

【 0 0 1 5 】



## 【発明の実施の形態】

以下、図面を参照して本発明の実施形態について詳細に説明する。図1は本発明の第1実施形態のシステム構成を示した図である。この図1に示したシステムは、需要者としての一般医と、一般医の要求に応じて放射線画像の読影を行なう供給者としての専門医（放射線医、臨床医など）とを結び付ける読影サービスシステムである。

## 【0016】

図1に示すように、この読影サービスシステムは、読影サービスの提供を行なう供給者90である専門医（1, 2, ..., n）に関する供給者情報J90を取得する供給者情報取得手段11、需要者80としての一般医（1, 2, ..., n）が希望する読影サービス（希望サービスの一態様）に関する需要者情報J80を取得する需要者情報取得手段12、それぞれ取得した供給者情報J90と需要者情報J80とに基づいて読影サービスの提供を希望する一般医と該読影サービスの提供が可能な専門医とを対応させるマッチング手段13とを備えた管理センタ10と、各専門医の読影サービスを提供可能な時刻、各専門医の提供可能な読影サービスの質、各専門医の所在位置、各専門医の読影サービスの提供に対する対価としての料金などに関する供給者情報J90を格納したデータベース20、各一般医（需要者80）、各専門医（供給者90）、データベース20、および管理センタ10との間でのデータ転送を可能にするネットワーク30とからなる。なお、データベース20は管理センタ10内に設けるようにしてもよい。

## 【0017】

管理センタ10内には、さらに、読影サービスの提供を希望する一般医とその読影サービスの提供が可能な専門医との対応付けがマッチング手段13によりなされ、実際に読影サービスの提供がなされた後に、該読影サービスの提供に応じた課金処理を行なう課金手段18が設けられている。

## 【0018】

データベース20への供給者情報J90の登録は、管理センタ10を介して行なうようにするとよい。この際、専門医側に図示しない入力端末を設け、この入力端末から供給者情報J90をネットワーク30を介して入力させ、情報を整理

した後にデータベース20に登録するとよい。あるいは、管理センタ10のオペレータが電話応対などによって専門医の情報を取得し、その結果をデータベース20に登録するようにしてもよい。さらには、管理センタ10を介することなく専門医側から図示しない入力端末により直接登録するようにしてもよい。

【0019】

各専門医の読影サービスを提供可能な時刻は、その時刻そのものであってもよいし、例えば専門医各人のタイムスケジュールから割り出すようにしてもよい。

【0020】

各専門医の提供可能な読影サービスの質は、例えばランク分けや経験年数、あるいは専門分野などで表すようにするとよい。

【0021】

各専門医の所在位置は、正確な住所であってもよいし、これに限らず、例えば市町村、県などの大まかな区分であってもよい。

【0022】

読影サービスの提供に対する対価としての料金は、読影サービス1件当たりの費用で表してもよいし、時間単価で表してもよい。またこの料金には、専門医の報酬を含んでいてもよい。

【0023】

次に上記構成の読影サービスシステムの作用について説明する。

【0024】

先ずこの読影サービスの提供を受ける一般医1～nと読影サービスの提供を行なう専門医1～nは、管理センタ10と読影サービス提供に関する契約を結んでおく。

【0025】

そして、サービスを提供する供給者90としての各専門医1～nのタイムスケジュール、読影能力などの供給者情報J90をデータベース20に予め登録しておく。登録した内容に変更があれば、その都度変更内容を登録しておくことが望ましい。

【0026】

需要者 8 0 としての一般医から放射線画像の読影サービスの要請が管理センタ 1 0 に入力されたとき、需要者情報取得手段 1 2 は、その一般医の所在地、希望する読影時刻、読影の質、希望料金などの需要者情報 J 8 0 を入手する。このとき、読影時刻、一般医と専門医との距離などの希望優先順位や必須条件も入手しておくといよい。入手した需要者情報 J 8 0 などはマッチング手段 1 3 に入力される。この需要者情報 J 8 0 などは、一般医側に設置された図示しない入力端末により入力するようにしてもよいし、一般医と管理センタ 1 0 のオペレータとの間での電話応対により管理センタ 1 0 に設置された図示しない入力端末により入力するようにしてもよい。

## 【 0 0 2 7 】

マッチング手段 1 3 は、専門医に関する供給者情報 J 9 0 をデータベース 2 0 から読み出すように供給者情報取得手段 1 1 に指令する。供給者情報取得手段 1 1 はデータベース 2 0 から供給者情報 J 9 0 を読み出して、この読み出した供給者情報 J 9 0 をマッチング手段 1 3 に入力する。

## 【 0 0 2 8 】

マッチング手段 1 3 は、入力された（データベース 2 0 から読み出された）供給者情報 J 9 0 を検索して、需要者情報 J 8 0 が表す一般医の希望条件（質、費用など）に適合する専門医を選択・リストアップし、リストアップした専門医の中から、需要者の希望条件に最も適合する専門医を決定し、この決定した専門医に関する情報を一般医に伝える。

## 【 0 0 2 9 】

この情報を入手した一般医は、読影を希望する放射線画像をネットワーク 3 0 を介して紹介された専門医に配信する。画像の配信を受けた専門医は読影を行なって読影レポートを電子データとして作成し、この電子データを読影サービスを希望した一般医に配信する。また、専門医は読影サービスに要した時間に関する情報をマッチング手段 1 3 に配信する。

## 【 0 0 3 0 】

マッチング手段 1 3 は専門医から配信された読影サービスに要した時間とデータベース 2 0 に登録されていた時間単価とを課金手段 1 8 に入力する。課金手段

18は、入力された時間と時間単価とに基づいて実料金を計算し、また管理センタ10による幹旋料などを前記実料金に加算して合計費用を算出し、この合計費用をマッチング手段13に入力する。マッチング手段13は一般医に合計費用を請求する。

【0031】

なお、読影サービスを実施した件数とデータベース20に登録されていた1件当たりの料金とを課金手段18に入力し、入力された件数と1件当たりの料金とに基づいて実料金を計算してもよい。

【0032】

以上述べたように、上記構成の読影サービスシステムにおいては、一般医と専門医との間で個別契約を結んでいなくても、希望する条件に適合する読影サービスをいずれかの専門医から受けることができる。特に、1人の専門医と個別契約を結んでいると、その専門医が忙しいときには一般医が希望する時刻に読影サービスの提供を受けることができず診断に支障を来す虞れがあるのに対して、このシステムでは、一般医が希望する時刻に読影サービスの提供可能ないずれかの専門医が管理センタ10のマッチング手段13によって対応付けられる（検索される）ので一般医側においては診断に支障を来すことがなく、一方専門医側は自分の空いている時間を有効に使えるので、本発明の効果が大きい。

【0033】

また、読影サービスの提供を行なうことが可能な各専門医に関する情報が予めデータベース20に登録されているので、一般医の希望する条件に適合する読影サービスの提供が可能な専門医の検索がスムーズにでき、システム効率が向上する。

【0034】

また、一般医が希望する読影サービスの提供が可能な専門医を紹介するという新たな幹旋サービス（新ビジネス）を構築することもできる。

【0035】

なお、上記実施形態では、リストアップされた専門医の中から、需要者の希望条件に最も適合する専門医をマッチング手段13において決定し、決定した専門

医に関する情報を一般医に伝えるとしていたが、これに限らず、例えばリストアップした専門医に関する全ての情報を一般医に伝え、実際に読影サービスを行なう専門医を一般医に決定させるようにしてもよい。

## 【 0 0 3 6 】

なお、一般医の希望に適合する専門医がリストアップされないときにはその旨を一般医に伝えるとよい。あるいは、例えば、希望条件の優先順位を変更したときや希望条件の1つを除外したときには適合する専門医がいるということや、そのときにリストアップされ得る専門医に関する情報などを一般医に伝えるようにしてもよい。

## 【 0 0 3 7 】

また、上記実施形態では、放射線画像の配信や読影レポートの配信は一般医と専門医との間で直接に行なうようにしていたが、これに限らず、これらの配信についても管理センタ 1 0 に設けられたマッチング手段 1 3 を介して行なうようにしてもよい。

## 【 0 0 3 8 】

また一般医から専門医へ配信する情報は、放射線画像のみならず、心電図などの患者モニタ情報や問診情報など、読影診断に参照できる情報を含んでいてもよい。

## 【 0 0 3 9 】

上記第 1 実施形態は、一般医が希望する放射線画像の読影サービスの提供を行なうことができるように、管理センタ 1 0 を介して一般医と専門医とを結び付けたシステムであるが、本発明は必ずしもこのようなシステムに限定されるものではない。以下に、本発明の他の実施形態について説明する。

## 【 0 0 4 0 】

図 2 は本発明の第 2 実施形態のシステム構成を示した図である。この図 2 に示したシステムは、放射線画像を読影して読影レポートの音声記録を行なう需要者 8 0 としての専門医と、該専門医による音声記録の読影レポートを文書データ化する供給者 9 0 としてのタイピストとを結び付ける読影レポートタイプサービスシステムである。図 2 に示すように、システム構成自体は、図 1 に示した読影サ

ービスシステムの構成と同様である。

【 0 0 4 1 】

この読影レポートタイプサービスシステムにおいては、先ずデータベース 2 0 に、各タイプリストのタイプサービスを提供可能な時刻、各タイプリストの提供可能なタイプサービスの質、各タイプリストの所在位置、タイプサービスの提供に対する対価としての料金に関する供給者情報 J 9 0 を格納する。

【 0 0 4 2 】

需要者 8 0 としての専門医が放射線画像を読影して読影レポートの音声データを記録し、記録した音声データを文書データ化してもらうことを管理センタ 1 0 に要請すると、管理センタ 1 0 では、データベース 2 0 に登録されているタイプリストに関する情報に基づいて、専門医の希望する条件に適合するタイプリストをリストアップ・選択し、それらの情報を専門医に伝える。

【 0 0 4 3 】

これらの情報を得た専門医は音声データを所望のタイプリストに配信する。配信された音声データを受け取ったタイプリストは、音声データに基づいて読影レポートの文書データを作成し、作成した文書データを専門医に配信するとともに、このタイプサービスの提供に要した時間に関する情報をマッチング手段 1 3 に配信する。

【 0 0 4 4 】

管理センタ 1 0 では、上述した読影サービスシステムの作用に準じて、タイプサービスに関わる課金処理（費用請求処理）を行なう。

【 0 0 4 5 】

図 3 は本発明の第 3 実施形態のシステム構成を示した図である。この図 3 に示したシステムは、在宅診療を希望する需要者 8 0 としての在宅患者と、該在宅患者を遠隔診療する供給者 9 0 としての一般医を結び付ける在宅診療サービスシステムである。図 4 に示すように、システム構成自体は、図 1 に示した読影サービスシステムの構成と同様である。

【 0 0 4 6 】

この在宅診療サービスシステムにおいては、先ずデータベース 2 0 に、各一般

医の診療可能な時刻、各一般医の診療の質（経験年数、専門分野など）、各一般医の所在位置、診療サービスの提供に対する対価としての料金に関する供給者情報 J 9 0 を格納する。

## 【 0 0 4 7 】

需要者 8 0 としての在宅患者が在宅診療を管理センタ 1 0 に要請すると、管理センタ 1 0 では、データベース 2 0 に登録されている一般医に関する情報に基づいて、在宅患者の希望する条件に適合する一般医をリストアップ・選択し、それらの情報を在宅患者に伝える。

## 【 0 0 4 8 】

情報を得た在宅患者は所望の一般医と連絡を取り、ネットワーク 3 0 を介して、T V 電話による問診、心電図の確認、聴診器の音を伝送して診断を受けるなどの遠隔診療を受ける。この遠隔診療が終わったら、一般医は、診療サービスの提供に要した時間、診断内容などに関する情報をマッチング手段 1 3 に配信する。

## 【 0 0 4 9 】

管理センタ 1 0 では、上述した読影サービスシステムの作用に準じて、診療サービスに関わる課金処理（費用請求処理）を行なう。

## 【 0 0 5 0 】

図 4 は本発明の第 4 実施形態のシステム構成を示した図である。この図 4 に示したシステムは、介護を受ける需要者 8 0 としての被介護者と、該被介護者に対して介護サービスを行なう供給者 9 0 としての介護ヘルパーとを結び付ける介護サービス（福祉サービス）システムである。図 4 に示すように、システム構成自体は、図 1 に示した読影サービスシステムの構成と同様である。

## 【 0 0 5 1 】

この介護サービスシステムにおいては、先ずデータベース 2 0 に、各ヘルパーの介護サービスを提供可能な時刻、各ヘルパーの提供可能な介護サービスの質、各ヘルパーの所在位置、介護サービスの提供に対する対価としての料金に関する供給者情報 J 9 0 を格納する。

## 【 0 0 5 2 】

需要者 8 0 としての被介護者が介護サービスの提供を管理センタ 1 0 に要請す

ると、管理センタ１０では、データベース２０に登録されている介護ヘルパーに関する情報に基づいて、被介護者の希望する条件に適合する介護ヘルパーをリストアップ・選択し、それらの情報を被介護者に伝える。

## 【 0 0 5 3 】

情報を得た被介護者は所望の介護ヘルパーと連絡を取って被介護者の元へ赴いてもらい介護サービスを受ける。この場合、ヘルパーの所在位置を参照して、介護の質や希望料金などの条件を満たし且つ被介護者と最も近い介護ヘルパーを選択することで、希望に叶う介護ヘルパーが被介護者の元に短時間で赴くことができる。

## 【 0 0 5 4 】

なお、管理センタ１０が被介護者の希望に最も適合する介護ヘルパーを選択したら、その介護ヘルパーに直ちに被介護者の元へ赴くように指令してもよい。この介護サービスの提供が終わったら、介護ヘルパーは、介護サービスの提供に要した時間、サービス内容などに関する情報をマッチング手段１３に配信する。

## 【 0 0 5 5 】

管理センタ１０では、上述した読影サービスシステムの作用に準じて、介護サービスに関わる課金処理（費用請求処理）を行なう。

## 【 0 0 5 6 】

図５は本発明の第５実施形態のシステム構成を示した図である。この図５に示したシステムは、図１に示した読影サービスシステムと図２に示した読影レポートタイプサービスシステムとを一体化したシステムである。

## 【 0 0 5 7 】

この場合、各専門医は需要者８０および供給者９０のいずれにも該当することになる。各サービスの流れについてはそれぞれの実施形態で述べたので説明を割愛する。

## 【 0 0 5 8 】

以上本発明のサービス提供システムの好ましい実施形態について説明したが、本発明は必ずしも上述した各実施形態に限定されるものではない。

## 【 0 0 5 9 】



例えば、上述の各実施形態は、放射線画像の読影や在宅診療という医療行為に直接結びつくサービス、そのものは医療行為に直接結びつくものではないがサービスの結果物である読影レポートの文書データが医療行為に利用されるタイプサービスなどの医療に関わるサービス、あるいは介護（福祉）に関わるサービスの提供を希望する需要者と、これらの希望サービスを提供可能な供給者とを対応させて結び付け、需要者に前記希望サービスの提供を可能にする一例を示したが、サービスの種類は、その他の種類のサービスであってもよい。

## 【 0 0 6 0 】

また上記各実施形態では、データベース 2 0 を設け、サービスの提供を行なう供給者に関する供給者情報 J 9 0 を予めデータベース 2 0 に登録しておくこととしていたが、データベース 2 0 を設けない場合には、需要者からのサービス提供要請がある都度、供給者情報取得手段 1 1 が、ネットワーク 3 0 を介して供給者情報 J 9 0 を取得したり、あるいは管理センタ 1 0 のオペレータが契約されている供給者に供給者情報 J 9 0 を電話などで問い合わせ、その結果を入力するように構成することもできる。

## 【 0 0 6 1 】

また上記各実施形態は、複数の需要者 8 0 および複数の供給者 9 0 がそれぞれ管理センタ 1 0 と契約されているものであるが、本発明のシステムにおける需要者は 1 人であってもよい。

## 【図面の簡単な説明】

## 【図 1】

本発明の第 1 実施形態のシステム（読影サービスシステム）の構成を示した図

## 【図 2】

本発明の第 2 実施形態のシステム（読影レポートタイプサービスシステム）の構成を示した図

## 【図 3】

本発明の第 3 実施形態のシステム（在宅診療サービスシステム）の構成を示した図

## 【図 4】

本発明の第 4 実施形態のシステム（介護サービスシステム）の構成を示した図

【図 5】

本発明の第 5 実施形態のシステム（読影サービスシステム＋読影レポートタイプサービスシステム）の構成を示した図

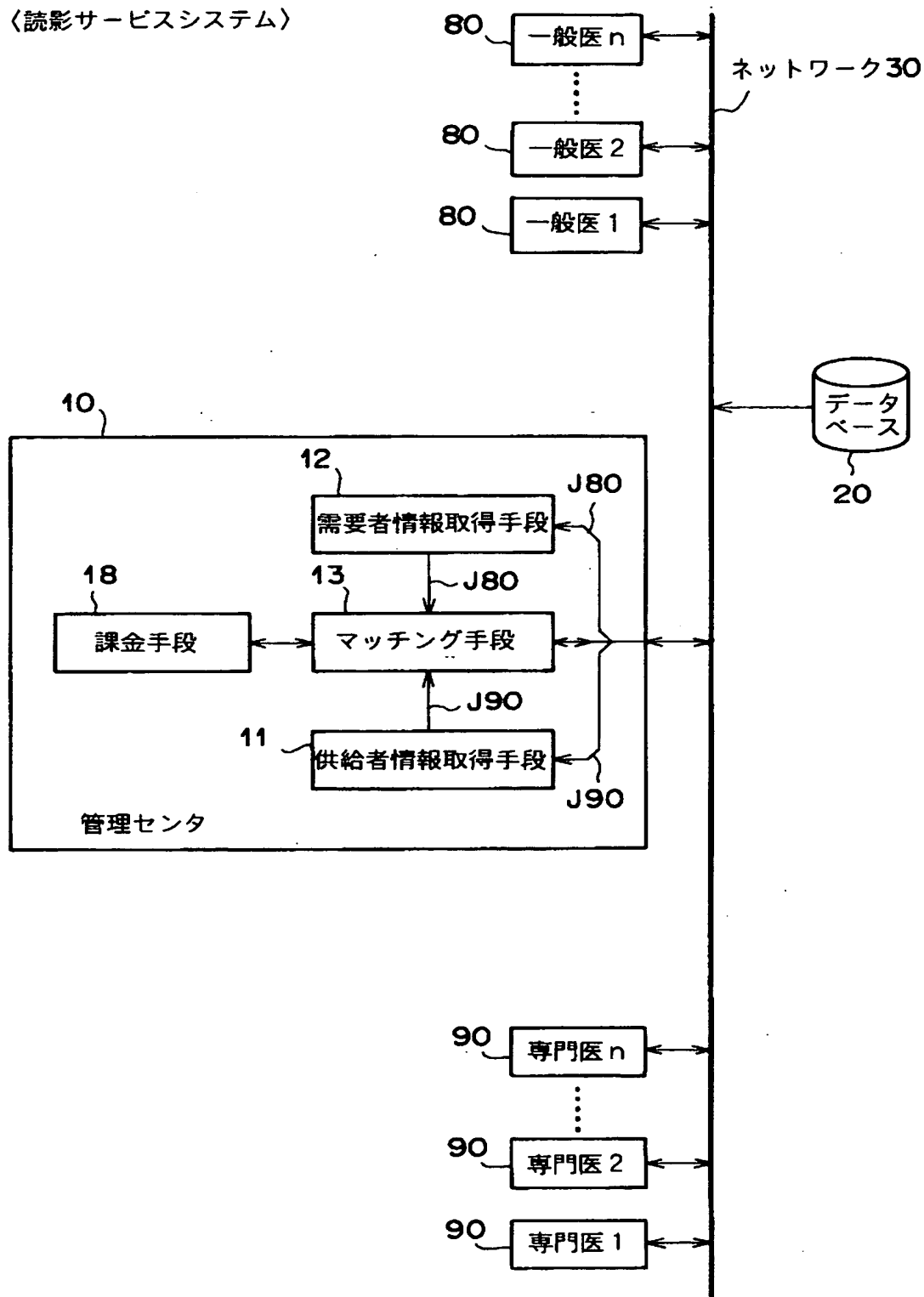
【符号の説明】

- 1 0     管理センタ
- 1 1     供給者情報取得手段
- 1 2     需要者情報取得手段
- 1 3     マッチング手段
- 1 8     課金手段
- 2 0     データベース
- 3 0     ネットワーク
- 8 0     需要者
- 9 0     供給者
- J 8 0   需要者情報
- J 9 0   供給者情報

【書類名】 図面

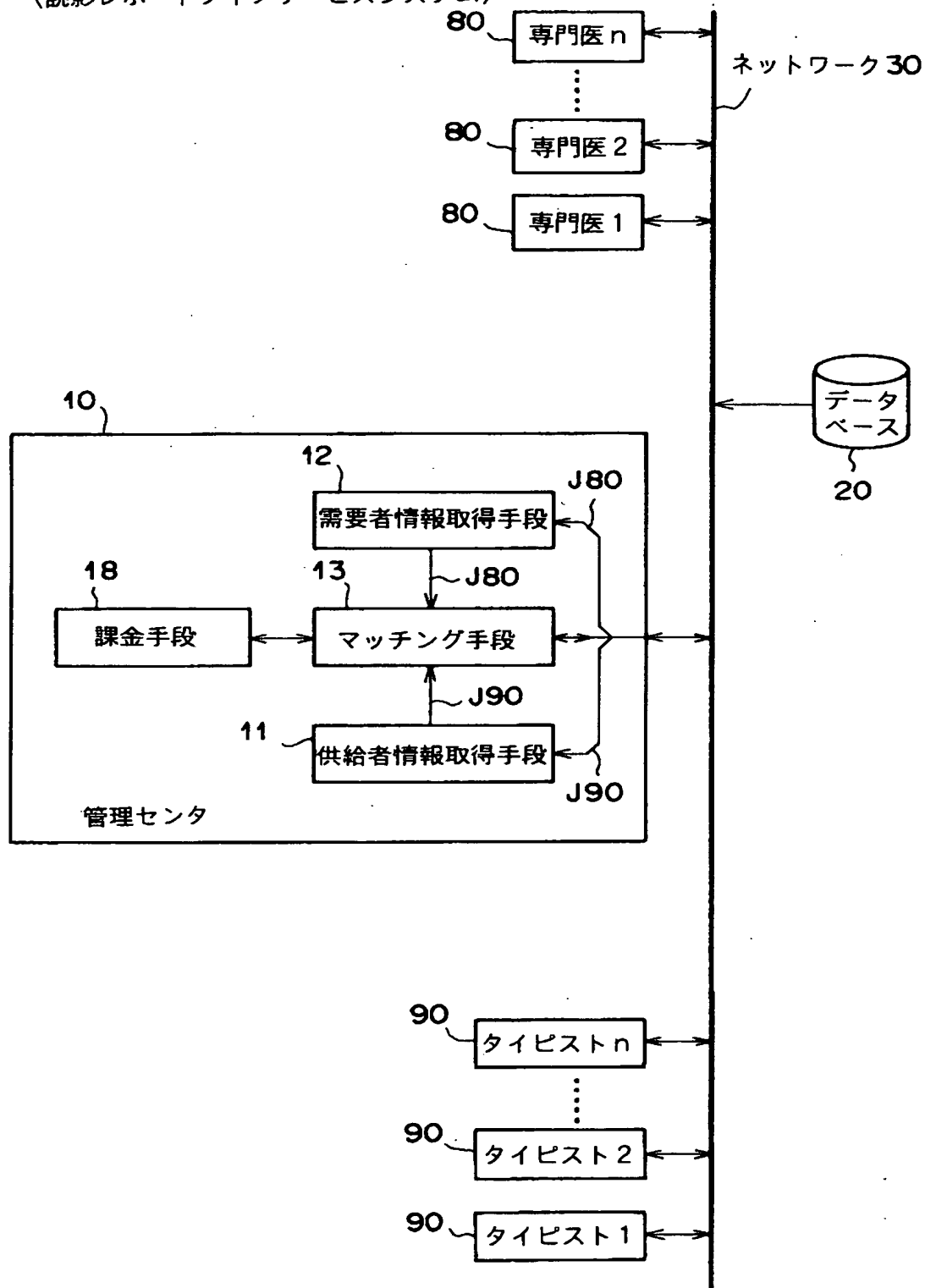
【図 1】

〈読影サービスシステム〉



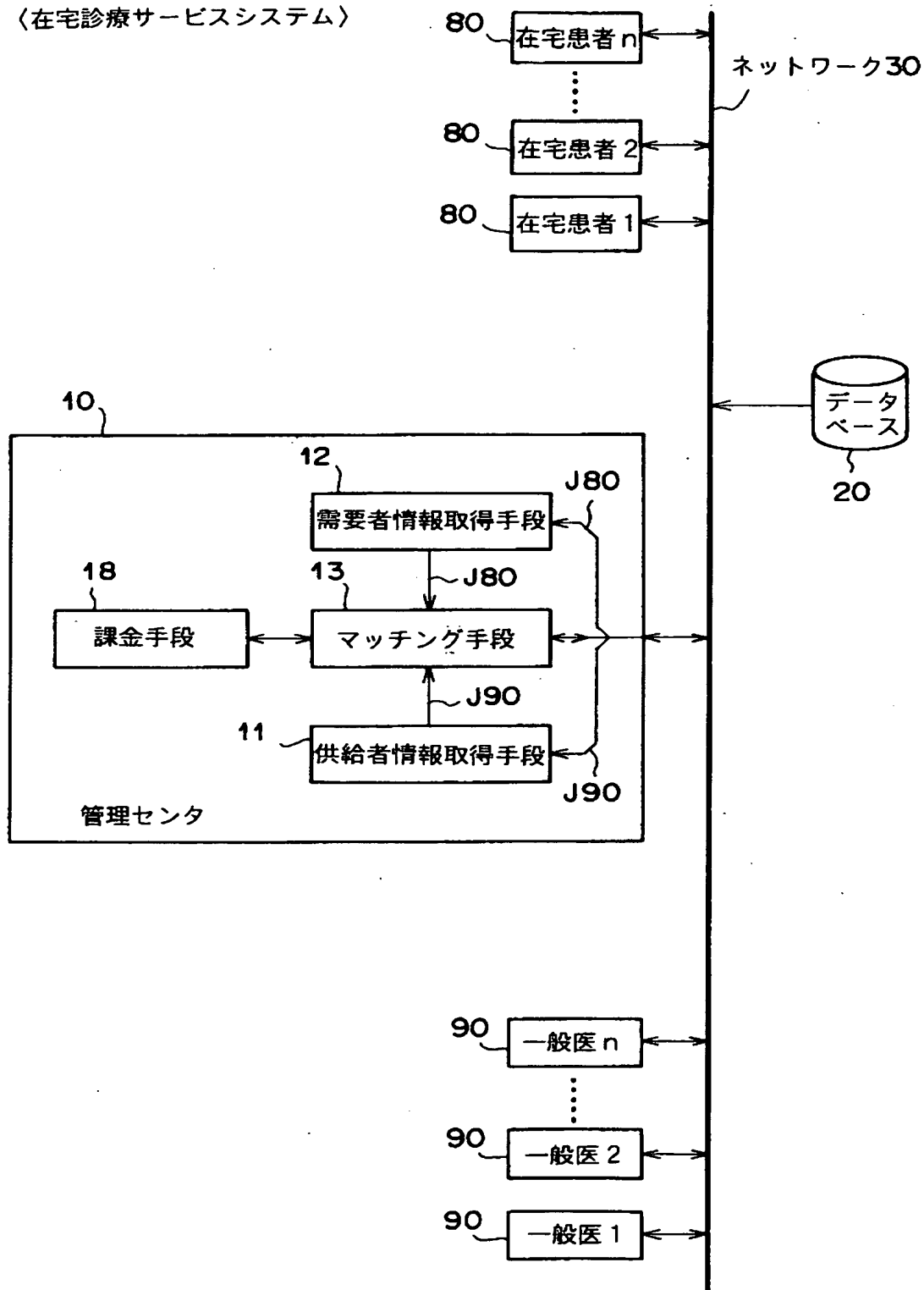
【図2】

〈読影レポートタイプサービスシステム〉



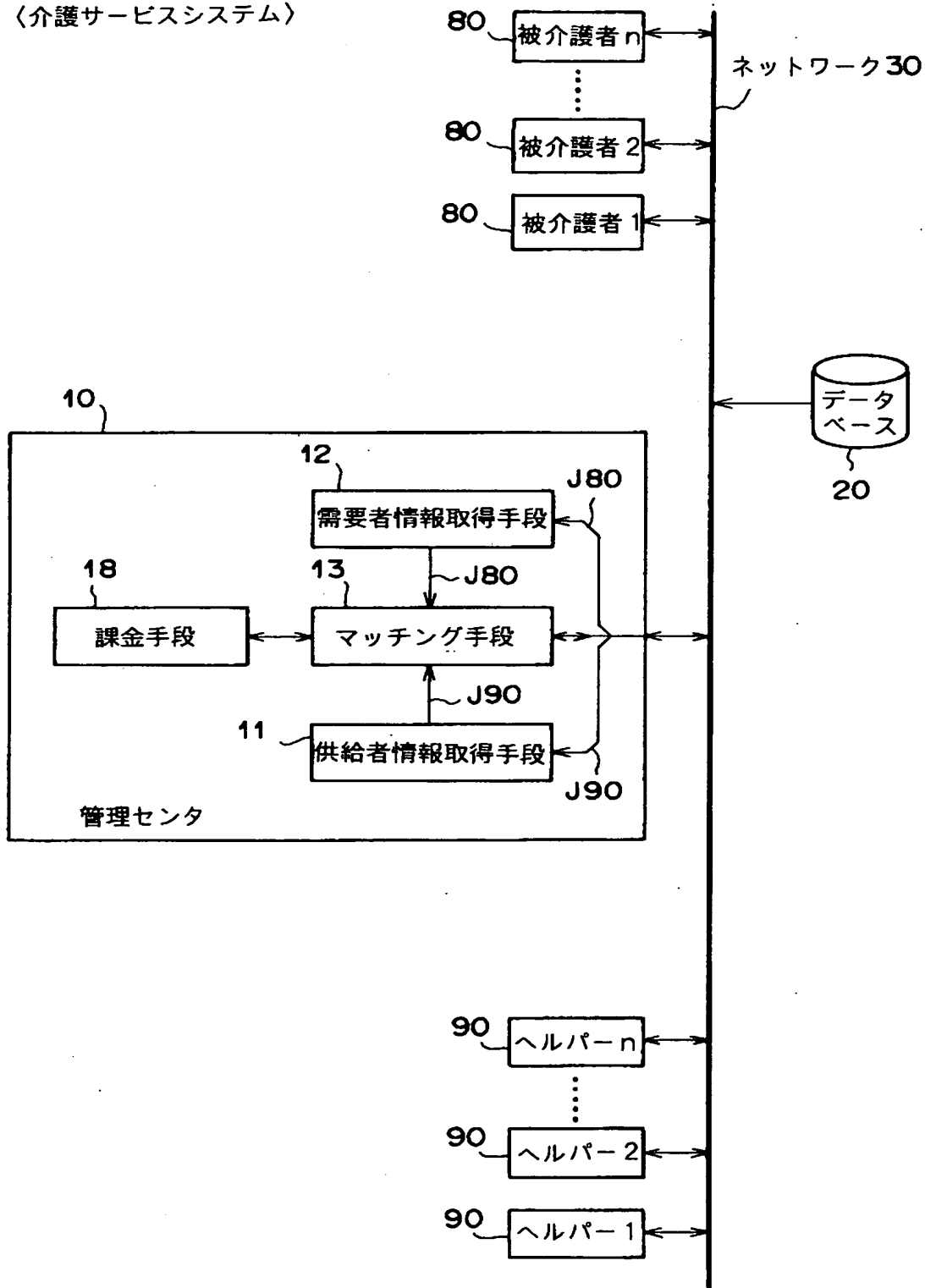
【図3】

〈在宅診療サービスシステム〉

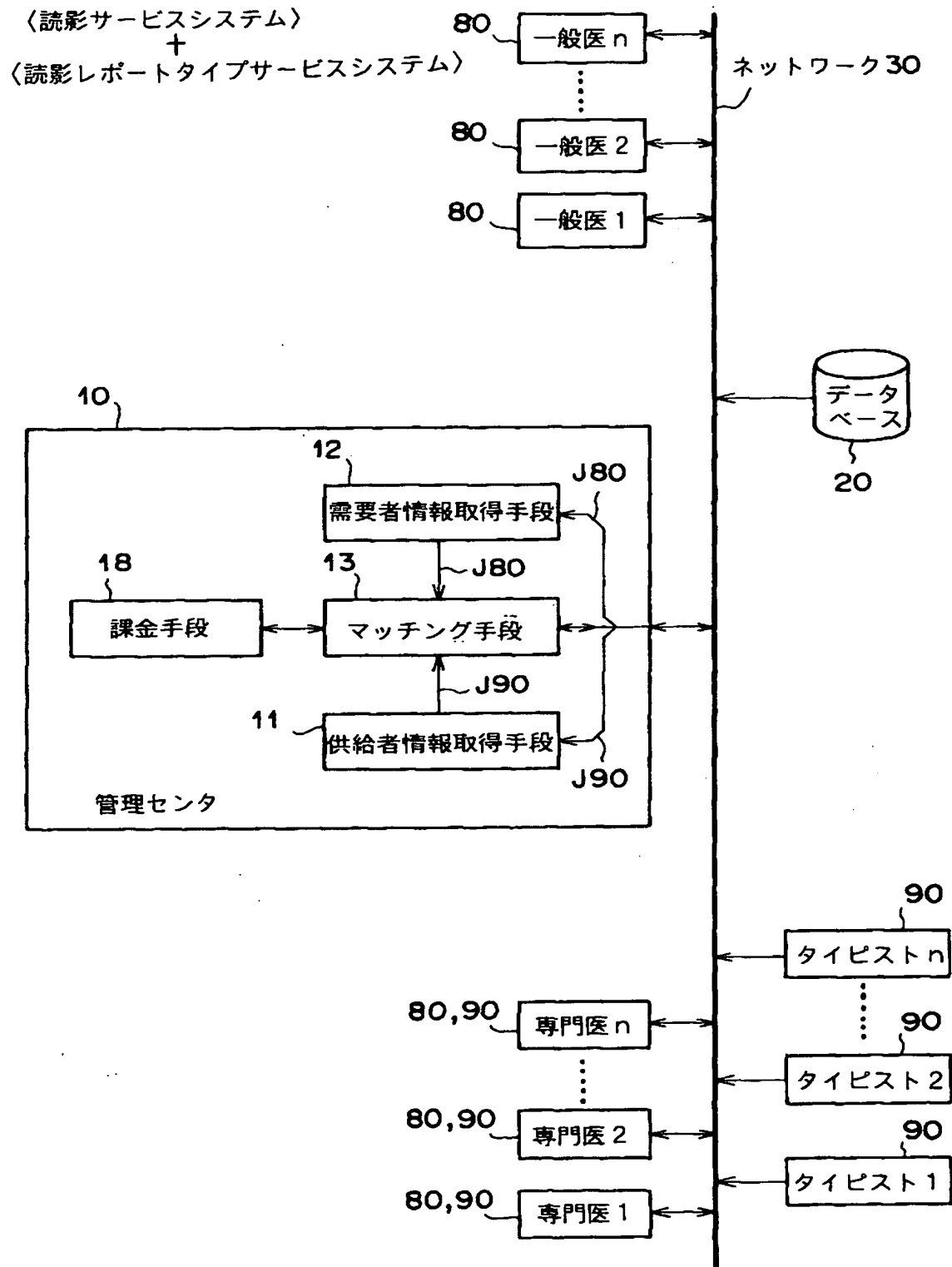


【図4】

〈介護サービスシステム〉



【図 5】



【書類名】                      要約書

【要約】

【課題】    一般医の希望する放射線画像の読影サービスを、希望条件に適合するように提供できる読影サービスシステムを構成する。

【解決手段】    データベース20に、読影サービスを提供することが可能な供給者としての複数の専門医のそれぞれに関する所在地や空き時間などの供給者情報J90を予め格納しておく。管理センタ10には供給者情報J90を取得する供給者情報取得手段11と、需要者としての一般医が希望する読影サービスに関する需要者情報J80を取得する需要者情報取得手段12と、供給者情報J90と需要者情報J80とに基づいて、一般医が希望する条件に適合する読影サービスの提供が可能な専門医をデータベース20からリストアップし、希望条件に最も適合する専門医を決定して、両者をマッチングさせるマッチング手段13を設ける。

【選択図】                      図1



認定・付加情報

特許出願の番号	特願 2000-156603
受付番号	50000653605
書類名	特許願
担当官	第八担当上席 0097
作成日	平成12年 5月29日

<認定情報・付加情報>

【提出日】	平成12年 5月26日
【特許出願人】	
【識別番号】	000005201
【住所又は居所】	神奈川県南足柄市中沼 210 番地
【氏名又は名称】	富士写真フイルム株式会社
【代理人】	申請人
【識別番号】	100073184
【住所又は居所】	神奈川県横浜市港北区新横浜 3-18-20 B E N E X S-1 7階 柳田国際特許事務所
【氏名又は名称】	柳田 征史
【選任した代理人】	
【識別番号】	100090468
【住所又は居所】	神奈川県横浜市港北区新横浜 3-18-20 B E N E X S-1 7階 柳田国際特許事務所
【氏名又は名称】	佐久間 剛

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [000005201]

1. 変更年月日 1990年 8月14日  
[変更理由] 新規登録  
住 所 神奈川県南足柄市中沼210番地  
氏 名 富士写真フイルム株式会社